

<b>〔科目名〕</b> 生命の科学	<b>〔単位数〕</b> 2単位	<b>〔科目区分〕</b> 教養科目
<b>〔担当者〕</b> 長岡朋人	<b>〔オフィス・アワー〕</b> 時間:在室時 場所:605 研究室	<b>〔授業の方法〕</b> 講義
<b>〔科目の概要〕</b> 本講義は、私たちの身体を形作っている生物学的基礎の学習を通して、科学リテラシーを涵養することを目的とします。生物学はヒトと環境を理解する基礎となるとともに、私たちが歩んできた進化の道筋を解き明かしてくれます。生物学は細胞や組織から身体、環境、生態まで幅広い領域を範疇とし、自然科学、人文社会科学の多様な分野と学際的な接点を持っています。本講義は、生物学の多様な分野を視野におさめ、ときには研究の現場のトピックをまじえながら、分子生物学、神経科学、行動生態学、進化学の講義を行います。高校における生物の履修を前提としませんが、講義内容は大学教養レベルの内容です。		
<b>〔授業科目群〕・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕</b> 1. 批判的思考 私たちは生物学や医学に密接にかかわる場面で生活しています。科学の知識は常に進歩していき、当たり前だと思った知識も色褪せていきます。身近にある当たり前の事柄に疑いを持ち、情報を取捨選択するための基礎知識を涵養します。 2. 専門分野との学際的接点 本科目と経営経済学との学際的接点(たとえば進化ゲーム理論は経済学にも関わりがあります)により、学生の知的好奇心を高めることができると確信しています。		
<b>〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕</b> 1. 最終目標 (1)書籍やインターネットの情報を検索・取捨選択し正しく引用できること、(2)自分の言葉で情報を整理し意見を述べるができること、(3)生物学に対する批判的思考を身につけることです。 2. 中間目標 (1)膨大な情報量を持つ学問領域を知ること、(2)科学リテラシーを身につけることです。		
<b>〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕</b> 不真面目な学生が講義中にスマホゲームや私語によって周りの学生に迷惑をかけているという点について、この点は教員から学生に注意すべきことかと受け止めています。講義資料の不鮮明さは改善しました。		
<b>〔教科書〕</b> 指定なし		
<b>〔指定図書〕</b> 「Essential 細胞生物学原書第4版」(ブルース・アルバーツ、南江堂、2016年)、「デイビス・クレブス・ウェスト行動生態学 原著第4版」(ニコラス・B. デーヴィスほか、共立出版、2015年)、「解剖生理学」(坂井建雄ほか、医学書院、2018年)、「バイオエシックス入門」(今井道夫・香川知晶、東信堂、1995年)		
<b>〔参考書〕</b> なし		
<b>〔前提科目〕</b> 健康と医療、もしくは科学技術と社会を受講していることが望ましい。		
<b>〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)</b> 講義時の課題への取り組み、期末試験、レポートにより評価します。マークシートによる試験を行うこともあります。毎回の講義で課す課題シートは後日提出を認めません。		
<b>〔評価の基準及びスケール〕</b> Aは80点以上、Bは70～79点、Cは60～69点、Dは50～59点、Eは49点以下と評価します。全講義回数の3分の1(講義回数が15回であれば5回以上)の欠席者(欠席届提出分は除く)はF評価とします。また、試験の無断欠席者、レポートの未提出者・遅延者はF評価とします。 <b>欠席届は事務局で認めた場合のみ受け取りますが、それ以外の欠席は例</b>		

外なく欠席としてカウントします。

**【教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望】**

1. 受講の姿勢  
(1)生物学に関するトピックをもとに、当たり前と思っていた事柄に対して批判的な思考を身につけましょう。(2)生物学に関わる膨大な情報量を理解するために、講義を聴きながらノートでメモを取る必要があります。講義への積極的な参加を希望します。講義の難易度は高校の理科よりも難しいレベルであり、復習が欠かせません。漠然と講義を受けるだけでは理解できないため、講義を受講しながらメモを取る癖をつけましょう。
2. 学生への要望  
(1)遅刻・欠席は控えてください(すべての講義に出席できる方が受講してください)。(2)講義で分からないことは質問してください。(3)受動的な姿勢で受講しないでください。講義中の私語、携帯電話、スマホゲームの利用は禁じます。(4)マスクや手指消毒を行い感染対策に努めてください。

**【実務経歴】**

該当なし

**授業スケジュール**

第1回	テーマ(何を学ぶか):イントロダクション 内 容:本講義の目的、内容、評価方法について理解を深める。 教科書・指定図書 なし
第2回	テーマ(何を学ぶか):生命倫理 内 容:生命倫理に関する講義です。生命倫理が誕生した背景、医学研究をめぐる倫理指針(ニュルンベルク綱領、ヘルシンキ宣言)、インフォームドコンセント、臓器移植や再生医療をめぐる倫理的問題について理解します。 教科書・指定図書 「バイオエシックス入門」(今井道夫・香川知晶、東信堂、1995年)
第3回	テーマ(何を学ぶか):分子生物学 内 容:核酸、DNA、遺伝子の本体、タンパク質合成、遺伝子発現について理解を深める。 教科書・指定図書 「Essential 細胞生物学原書第4版」(ブルース・アルバーツ、南江堂、2016年)
第4回	テーマ(何を学ぶか):分子生物学 内 容:核酸、DNA、遺伝子の本体、タンパク質合成、遺伝子発現について理解を深める。 教科書・指定図書 「Essential 細胞生物学原書第4版」(ブルース・アルバーツ、南江堂、2016年)
第5回	テーマ(何を学ぶか):神経科学 内 容:中枢神経の構造と機能について理解を深める。 教科書・指定図書 「解剖生理学」(坂井建雄ほか、医学書院、2018年)
第6回	テーマ(何を学ぶか):進化 内 容:進化のしくみについて理解を深める。 教科書・指定図書 配布資料
第7回	テーマ(何を学ぶか):行動生態学 内 容:行動生態学について理解を深める。 教科書・指定図書 「デイビス・クレブス・ウェスト行動生態学 原著第4版」(ニコラス・B. デーヴィスほか、共立出版、2015年)
第8回	テーマ(何を学ぶか):行動生態学 内 容:行動生態学について理解を深める。 教科書・指定図書 「デイビス・クレブス・ウェスト行動生態学 原著第4版」(ニコラス・B. デーヴィスほか、共立出版、2015年)

第9回	<p>テーマ(何を学ぶか):行動生態学</p> <p>内 容:行動生態学について理解を深める。</p> <p>教科書・指定図書 「デイビス・クレブス・ウェスト行動生態学 原著第4版」(ニコラス・B. デーヴィスほか、共立出版、2015年)</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):行動生態学</p> <p>内 容:行動生態学について理解を深める。</p> <p>教科書・指定図書 「デイビス・クレブス・ウェスト行動生態学 原著第4版」(ニコラス・B. デーヴィスほか、共立出版、2015年)</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか):進化と行動</p> <p>内 容:利己的遺伝子と種の保存について理解を深める。</p> <p>教科書・指定図書 「デイビス・クレブス・ウェスト行動生態学 原著第4版」(ニコラス・B. デーヴィスほか、共立出版、2015年)</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):ヒトの生物学</p> <p>内 容:ヒトの進化について理解を深める。</p> <p>教科書・指定図書 配布資料</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):ヒトの生物学</p> <p>内 容:ヒトの進化について理解を深める。</p> <p>教科書・指定図書 配布資料</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):ヒトの生物学</p> <p>内 容:ヒトの進化について理解を深める。</p> <p>教科書・指定図書 配布資料</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):ヒトの生物学</p> <p>内 容:ヒトの進化について理解を深める。</p> <p>教科書・指定図書 配布資料</p>
試験	<p>期末試験</p>